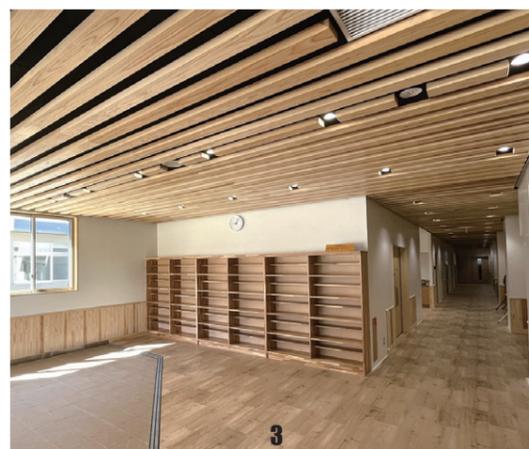


新屋内運動場が供用開始

猪苗代中学校新屋内運動場引き渡し式

猪苗代中学校の新屋内運動場引き渡し式は8月1日、同運動場で行われ、二瓶盛一町長から横山泰久校長へ鍵が引き渡されました。

新屋内運動場は、鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)平屋建て、延床面積1,627.42平方メートルです。床材には、国際スポーツ大会にも採用されている長尺弾性塩ビシートを採用。フローリング材より弾力性があるため、体にかかる負担の軽減や転倒時のケガのリスクが緩和されます。廊下の天井や壁は、校舎と同様に県産材の木材を使用し、内装を統一しました。



1_床材に長尺弾性塩ビシートを採用したアリーナ
2_アリーナ内のステージ 3_県産材の木材を使用した廊下の天井や壁

鉄人が自分の限界に挑む

第25回うつくしまトライアスロン in あいづ

県内外から510人の選手がエントリーした「第25回うつくしまトライアスロン in あいづ」は8月27日、町内などで行われ、熱いレースを繰り広げました。大会は天神浜のスイム1.5km、会津大までのバイク40km、同大周辺のラン10kmの計51.5kmのコースで争われ、選手は自分の限界に挑戦しました。

男子総合では梅田祐輝選手(東京都)が2連覇を達成。女子総合では丹野恵梨香選手(埼玉県)が優勝しました。



バイクで小平瀨天満宮を駆け抜ける選手たち



ソフトボールでホームランを放つ三城瀧チームの野口裕貴選手

スポーツで親睦を深める

町民球技大会

町民球技大会は8月20日、ソフトボールは町運動公園球場で、家庭バレーボールはカメリーナを会場に開かれました。4年ぶりの開催となった今大会から地区大会を廃止。ソフトボールには12チームが、家庭バレーボールには7チームが参加し、選手たちはスポーツを通じて親睦を深めながら爽やかな汗を流しました。試合の結果、ソフトボールは扇田と名古屋町チームが優勝。家庭バレーボールは扇田とOMSチームが優勝しました。

当時の思い出や近況を語り合う

「えとタイムカプセル」掘り起こし式

町内6つの小学校で12年前に6年生だった児童が埋めた「えとタイムカプセル」の掘り起こし式は8月11日、猪苗代ハーブ園で行われ、タイムカプセルを埋めた卒業生のうち、約60人が参加しました。セレモニーでは、代表して渡部大輝さん(長瀬小卒)が「最後の時間まで思い出話に花を咲かせて、素敵な一日にしましょう」とあいさつ。参加者は、自分に宛てた手紙や思い出の品を見せ合いながら、当時の思い出や近況を語り合いました。



宝箱から12年前の思い出の品を取り出し笑顔を見せる参加者

東軍殉難者を慰霊

戊辰戦争・東軍殉難者慰霊祭

戊辰戦争の激戦地、母成峠の戦いで戦死した東軍殉難者の慰霊祭は8月21日、東軍殉難者慰霊碑前で4年ぶりに行われました。

慰霊祭には母成弔霊義会の会員らが参列。読経の後、母成弔霊義会の氏家利晃会長が祭文を読み上げ、二瓶盛一町長らが焼香し、殉難者の冥福を祈りました。

また、吾妻小学校4年生の児童14人が白虎隊の剣舞を奉納し、殉難者の霊を慰めました。



白虎隊の剣舞を奉納する吾妻小の児童

800余柱の冥福を祈る

町戦没者追悼式

町戦没者追悼式は8月18日、学びいなで行われ、町遺族連合会会員ら約80人が参列し、第二次世界大戦で犠牲になった戦没者800余柱の冥福を祈りました。式では、参列者全員で黙とうを捧げた後、二瓶盛一町長が「戦争の恐ろしさ、非情さ、むなしさを次の世代に引き継いでいきます」と式辞。小谷尚克県会津保健福祉事務所長、渡辺真一郎町議会議長が追悼の辞を述べた後、参列者が献花をし、英霊を慰めました。



英霊の冥福を祈り献花する二瓶町長